

教科名	数学	学年	第 1 学年	教科担当者：石黒 奏音
-----	----	----	--------	-------------

学習目標

中学校では、小学校で学習してきた「算数」に代わって「数学」という教科を学習します。数学は算数の応用であり、もっと広範囲に、もっと一般的に考える教科です。これからの学習では、

- ① 数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深めていきます。
- ② 数学的な思考、判断、表現の仕方を学んでいきます。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度を培っていきます。

また、数学は垂直教科（積み上げの教科）です。小学校で習った内容が1年生で、1年生で習った内容が2年生で、さらに3年生へと発展、応用されていきます。基礎・基本を中心に一歩ずつ確実に学習をしていきましょう。

〈年間授業実施計画〉

月	単元名・教材名等	学習内容・項目等	学習ポイント・その他
4 5 6	1. 正の数・負の数 ・正負の数 ・加法と減法 ・乗法と除法 ・素数	・負の数に範囲を広げ、正の数、負の数について理解し、それを用いることができるようになる。 ・正の数、負の数の加減乗除の計算ができるようになる。 ・具体的事象を正負の数を利用して解けるようになる。 ・1や素数でない自然数を素数の積で表すことができる。	・正負の数の計算は基本中の基本になります。しっかりと計算できるようにしましょう。
7	2. 文字の式 ・文字を使った式 ・文字式の計算	・文字と文字式について理解し、それを用いることができるようになる。 ・数量の関係を文字式で表すと便利であることを理解し、文字式で表せるようになる。 ・文字式の計算ができるようになる。	・さまざまな数量の関係を式に表せるようにしましょう。
9 10	3. 方程式 ・方程式 ・1次方程式の利用	・方程式について理解し、用いることができるようになる。 ・等式の性質を利用し、方程式が解けるようになる。 ・比例式について理解し、利用できるようになる。	・1、2章の知識を活かし計算できるようにしましょう。
11 12 1	4. 変化と対応 ・比例 ・反比例 ・比例と反比例の利用	・具体的な事象から2つのともなって変わる数量関係を取り出し、それらの変化や対応関係を調べるとともに、比例、反比例について理解し、具体的場面で知識が生かせるようになる。 ・比例や反比例について、表や式、グラフなどと関連づけてその特徴を理解できるようになる。	・表、式、グラフを関連付けて関数の意味をしっかりと理解しましょう。
2	5. 平面図形 ・対称な図形 ・基本の作図 ・図形の移動	・平面図形における対称な関係、形を変えずに図形を移動する方法を理解し、実行できるようになる。 ・基本的な作図法を学び、正しく作図できるようになる。 ・円と扇形の性質を理解し、弧の長さや面積などを求めることができる	・三角形、四角形などの図形を通して、図形の性質を理解しましょう。
3	6. 空間図形 ・いろいろな立体 ・立体のいろいろな見方 ・立体の表面積と体積	・空間図形の位置関係や構成、立体の表面積、体積について理解し、考察したり求めたりすることができるようになる。	・日常での物体を通して、さまざまな立体について理解しましょう。
	7. 資料の活用 ・資料の散らばりと代表値 ・統計的確率	・資料の整理のしかた、表やグラフで表す方法とその意味を理解し、それらを活用した考察ができるようになる。 ・ヒストグラムや代表値など資料を整理する上で必要なことばの意味を理解し、表やグラフに整理できるようになる。 ・実際に作ったヒストグラムなどの資料をもとに、資料の特徴を考察できるようになる。	・さまざまな資料を使い特徴をつかめるようになりましょう。

《評価の観点および具体的な評価方法》

観点1「知識・技能」 観点2「思考・判断・表現」 観点3「主体的に学習に取り組む態度」

評価の観点	具体的な評価方法
観点1	定期テストの数学的な知識・技能に関する問題の正答状況（評価テスト） 課題学習に対して、課題解決できたかどうか（提出物等） 質問に対して発表するときのまとめ方、説明の仕方はどうか（発表の内容、提出物等）
観点2	定期テストの数学的な見方や考え方に関する問題の正答状況（評価テスト） 課題学習に対する見方や課題解決にあたっての考え方はどうか（取り組み、提出物等） 質問に対して発表する時の自分自身の考え方、発想はどうか（発表の内容、提出物等）
観点3	数学の授業に積極的に取り組む態度（発表の内容、提出物等） 振り返りシート、レポート、ワーク等の取り組む態度（レポートの内容、提出物等）

《教科の約束事》

(1) 授業

- ① 先生の話や友達の発表をよく聞こう。特に図の説明、計算の手順など、先生の話は、書くことに気をとられず必ず**黒板やタブレット等を見ながら聞こう。**
- ② ノート、プリントに書くときは、「**板書されたこと**」、「**先生が話したことのメモ**」、「**自分の考え、感想、ポイント**」の3つを意識して書こう。
- ③ 間違った所は、消しゴムで消さずに線で消し、あとで自分がどんな間違いをしたかわかるように残しておこう。
- ④ 余白を多めにとろう。書き込みがしやすくなります。（ノートの工夫）
- ⑤ 理解できないこと、解けない問題は、**その場で質問して(先生・友達)解決**しよう。
- ⑥ 自分でも説明や考えを伝えよう！**SNS 全盛期ですが、話して伝えることを意識しよう！**
- ⑦ 忘れ物をしないようにしよう。（宿題・道具）

(2) 家庭学習

- ① 授業のあった日は、**必ず復習**しよう。（家に帰って即行勉強！）→**帰宅即行勉強！**
- ② 同じ内容の問題（類題）を、教科書、ワーク、問題集で**繰り返し**やってみよう。
- ③ 大切なことは、**自分なりに**工夫してまとめておこう。

(3) 数学の学習で大切なこと

- ① **手を動かそう** 分からなくてもまずできることから手を動かす
- ② **はやく正しく**解けるように心がけよう。
- ③ 数字や文字は**ていねい**に**はっきり**書こう。
- ④ **なぜその答えが出たか**を理解しよう。

答えが一つでも解き方はたくさんあります。他にどんな解き方があるか考えてみよう。